

速度取締り指針 (観音寺警察署)

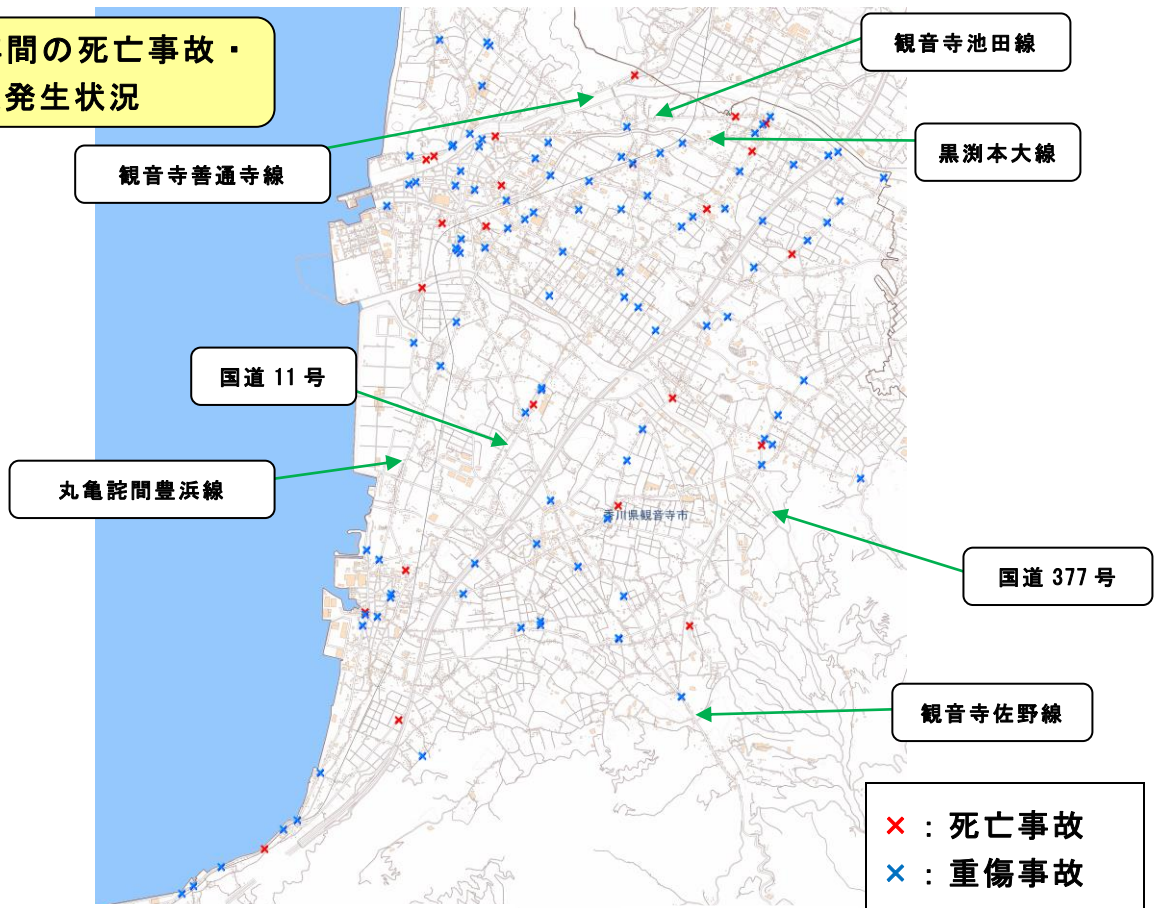
速度取締り重点

| 路線 | 時間帯 | 区間 | 規制速度 |
|---------------|--------------------|----------------|-------------|
| 国道 11 号 | 6:00 ～ 20:00 | 本大町～豊浜町 | 50 キロ |
| 国道 377 号 | | 新田町～豊浜町 | 40 キロ |
| 主要地方道観音寺佐野線 | | 大野原町大野原～大野原町井関 | |
| 主要地方道観音寺池田線 | | 村黒町～流岡町 | |
| 主要地方道観音寺善通寺線 | | 高屋町～流岡町 | |
| 観音寺市道 | | 八幡町～高屋町 | |
| | | 柞田町～大野原町花稻 | |
| ※主要地方道丸亀詫間豊浜線 | 6:00 ～ 9:00 | 室本町～高屋町 | 50 キロ |
| ※県道黒淵本大線 | | 吉岡町～村黒町 | 40 キロ |
| ※観音寺市道 | | 出作町～木之郷町 | |
| | | | 大鞆交差点～豆塚交差点 |

※可搬式オービスによる取締り重点路線

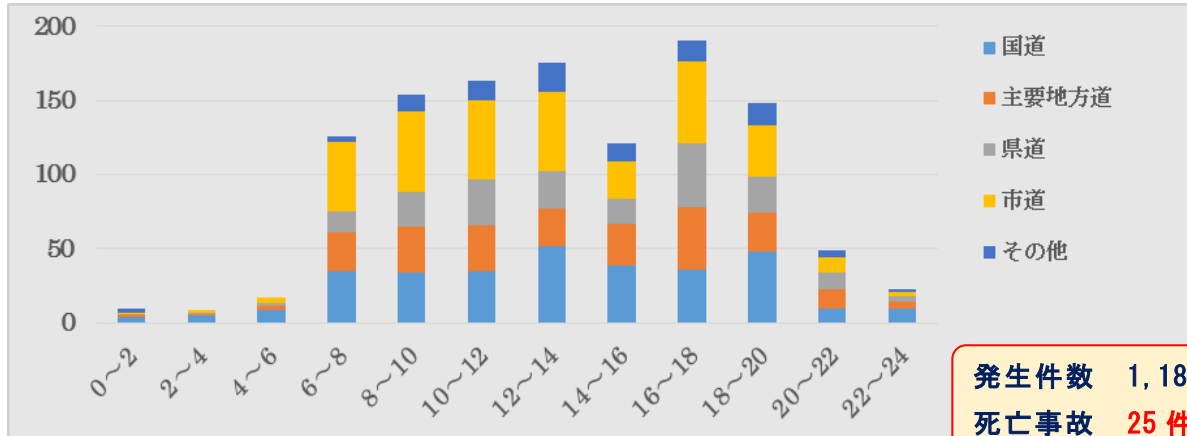
取締り要望等により、上記路線・時間帯以外でも速度取締りを実施することがあります。

過去 5 年間の死亡事故・ 重傷事故発生状況



管内の交通事故実態等

時間帯別・路線別交通事故発生状況 (平成28年から令和2年までの人身交通事故発生状況)



発生時間帯の特徴

- ◆ 6時から20時の時間帯に人身交通事故が多く発生しており、16時から18時が191件と最も多く、交通死亡事故の発生が最も多い時間帯は、10時から12時の4件である。
- ◆ 観音寺署管内では、12時台の人身交通事故が多いという特徴があったため、平成31年4月以降、同時帯の交通指導取締り等を強化した結果、令和元年は前年より14件減少し、令和2年は令和元年より4件減少して7件となった。

発生路線の特徴

- 人身交通事故が最も多い路線は、国道11号の275件で、交通死亡事故も6件で最多
- 県道黒淵本大線では人身交通事故が98件発生し、国道11号の次に多い。
- 市道では人身交通事故全体の約3割となる344件発生し、交通死亡事故も5件発生していることから、通り慣れた道での事故が多いものと考えられる。

その他の交通指導取締り要点

- 飲酒運転根絶のため、飲酒検問等の取締りを強化している。
- 昨年発生した交通死亡事故の原因の大半が、四輪ドライバーの前方不注視であることを踏まえ、安全不確認による信号無視や一時不停止、前方不注視の原因となる携帯電話使用等、これらの違反をなくすための取締りを強化している。
- 安全に横断歩道を利用してもらうため、横断歩行者妨害の取締りを強化している。
- シートベルト全席着用を徹底してもらうため、取締りを強化している。

悪質危険違反に対する取締りの成果

- 昨年中、無免許運転を7件、飲酒運転を5件、飲酒運転周辺三罪の同乗罪を2件検挙
- 生活道路や通学路を中心に交差点関連違反・シートベルト取締りを実施し、指定場所一時不停止を662件、シートベルト等着用義務違反を900件検挙した。